



最強勇者の僕がTS魔法で

魔王ガチ恋メス淫魔に

なるわけがない

メス淫魔

……  
アルヴェン

わ、私達……  
勝てると思う……？

この先に  
魔王が……

なんだよ  
いまさら  
怖くなったのか？

……シア  
僕は  
最強の勇者だぞ

魔王なんか  
負けるわけが  
ないだろう？

はあ……  
あのね？

ここまで来たんだものね  
最後まで  
信じてあげるわよ

貴方の  
そういう  
ところが  
心配だって  
言ってるの  
……でも

魔王ッ

お前を  
倒しにき……!?

……  
オーエン様

え……っ?  
コイツら  
何して……

チツ……  
また勇者か

何度殺つても  
次々新しいのが  
湧いてきやがる

なア?  
ルトナ

ええ  
全く……

アルヴェン……ッ!!

鬱陶しくて  
仕方がないですわね

この魔力……ッ  
マズい……!!

次の  
攻撃がこない…？



お、おい……  
寄るなよ……  
どういうつもり……ッ

あらあら

近くで見ると  
思ったより  
可愛いお顔



こんな状態で  
何言ってる……

殺すには少々  
勿体ないですね

貴方





噛まれたところが  
疼く……ッ

ぐ、あ……ッ



くそ……  
駄目だ……



視界が揺らいで……



アルヴェン  
しっかりしてッ!



私<sup>わたし</sup>が

もっと  
相応しい姿に  
してあげますわ



ドクンッ

ッ!?



……ルヴェン!

ル……

ええ……  
ええ……  
ええ……

僕が  
皆を  
守るんだと

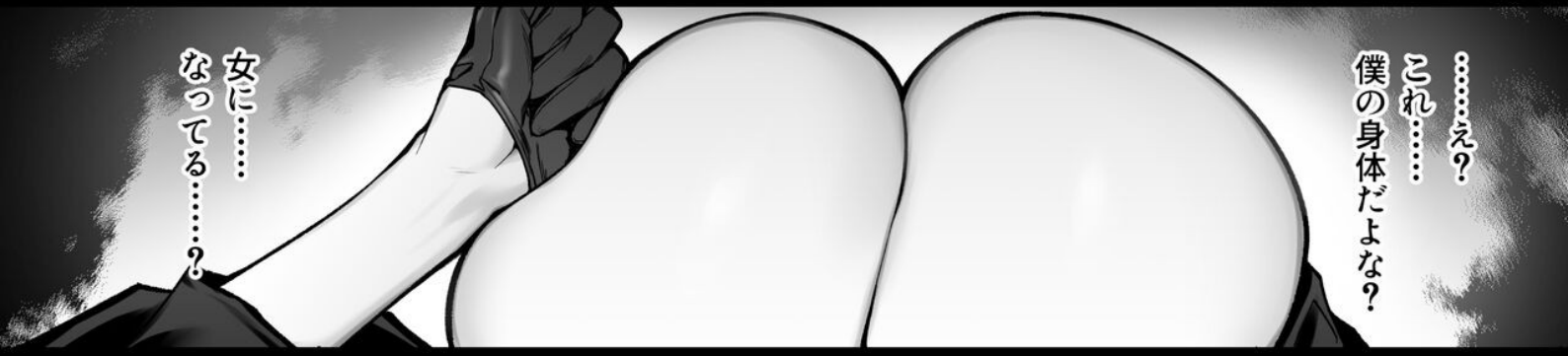
……え？  
これ……  
僕の身体だよな？

女……  
なってる……？

どうですか？  
オーエン様

この子……  
とっても  
可愛いでしょう？

一体どうして  
こんなこと……？



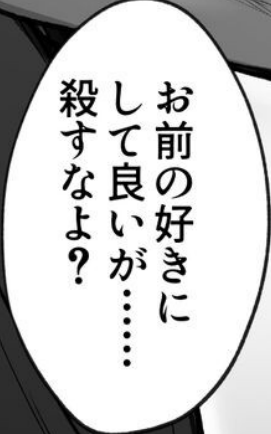


残りは  
連れていけ



……ははっ  
俺の好みが  
よく分かってんな

チッ



お前の好きに  
して良いが……  
殺すなよ？



ええ  
勿論ですわ



まっ……  
待て!!  
僕の仲間に  
何する  
つもりだッ!

お前はまず  
自分の心配しろよ  
勇者くん

触るなっ!  
離せよ……!!

早く  
皆を助けに  
行かないと……

うるせエな  
少しは  
落ち着け

クソ……ッ!  
全力なのに  
びくともしない

こんなヤツ  
男の時なら簡単に  
振り払えるのにッ!

おい  
ジロジロ  
見てんじゃねエよ

女の身体って  
こんなにも  
非力なのか……!?

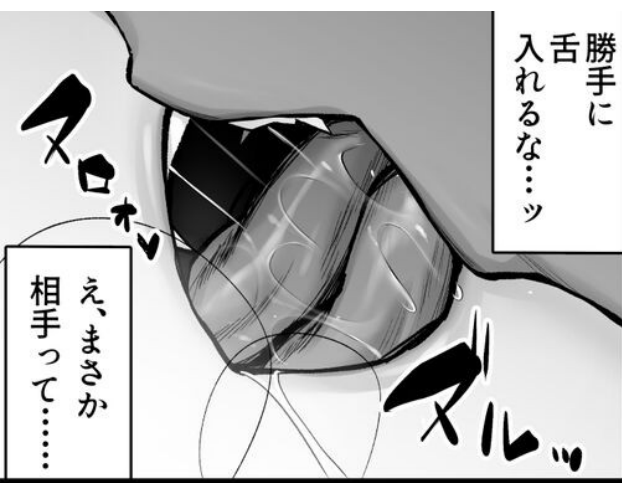
ッ……!

……あれ?  
な、何で僕が  
怯んでるんだよ?

さっきはよくも  
邪魔してくれたな

お前  
代わりに  
相手しろ

……は?



勝手に舌  
入れるな……ッ

え、まさか  
相手って……



む……  
無理無理!

そんなこと  
出来るわけッ

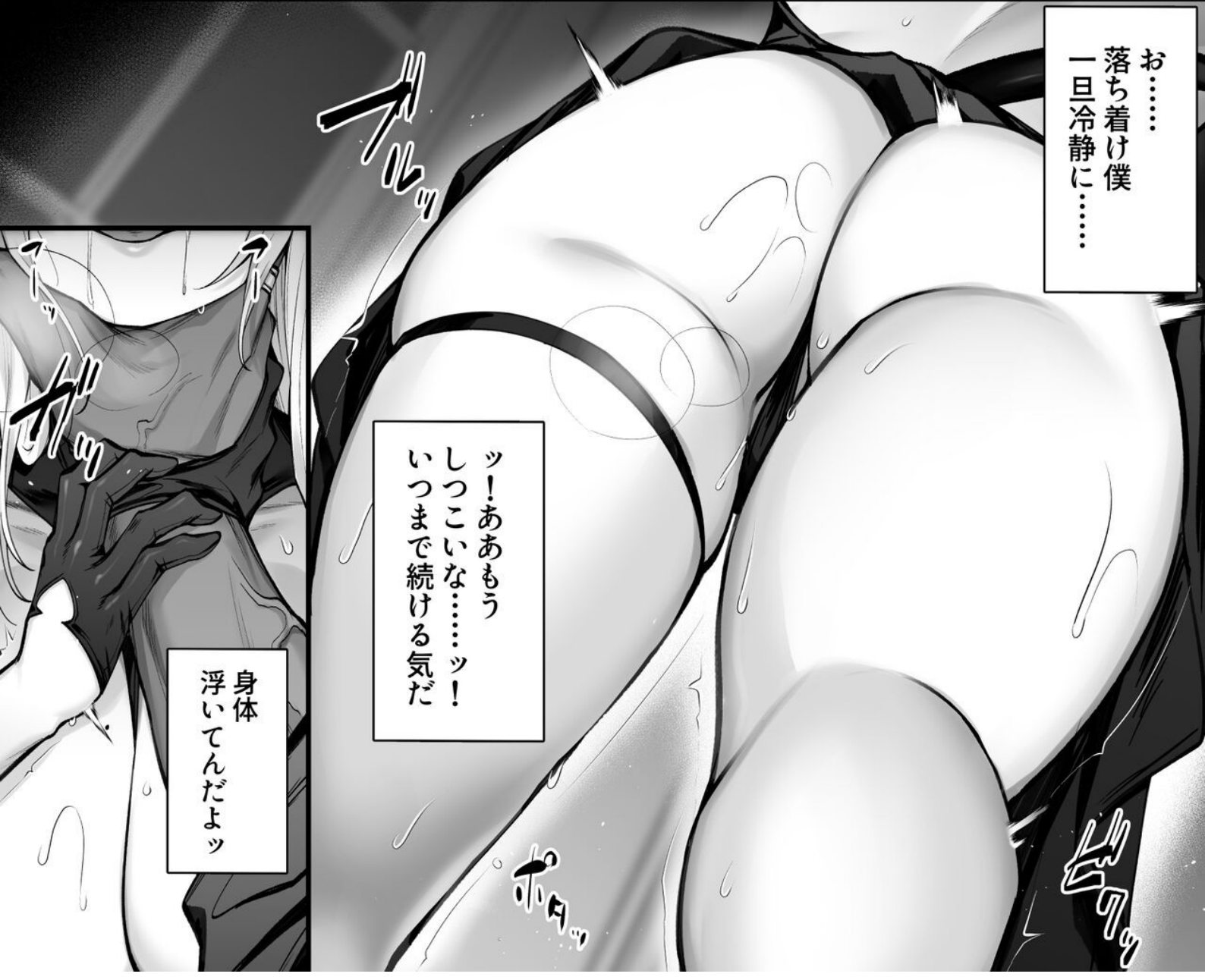


まって  
僕は男だぞ!?



キス……  
されてる!?

お前  
何  
言ってるッ

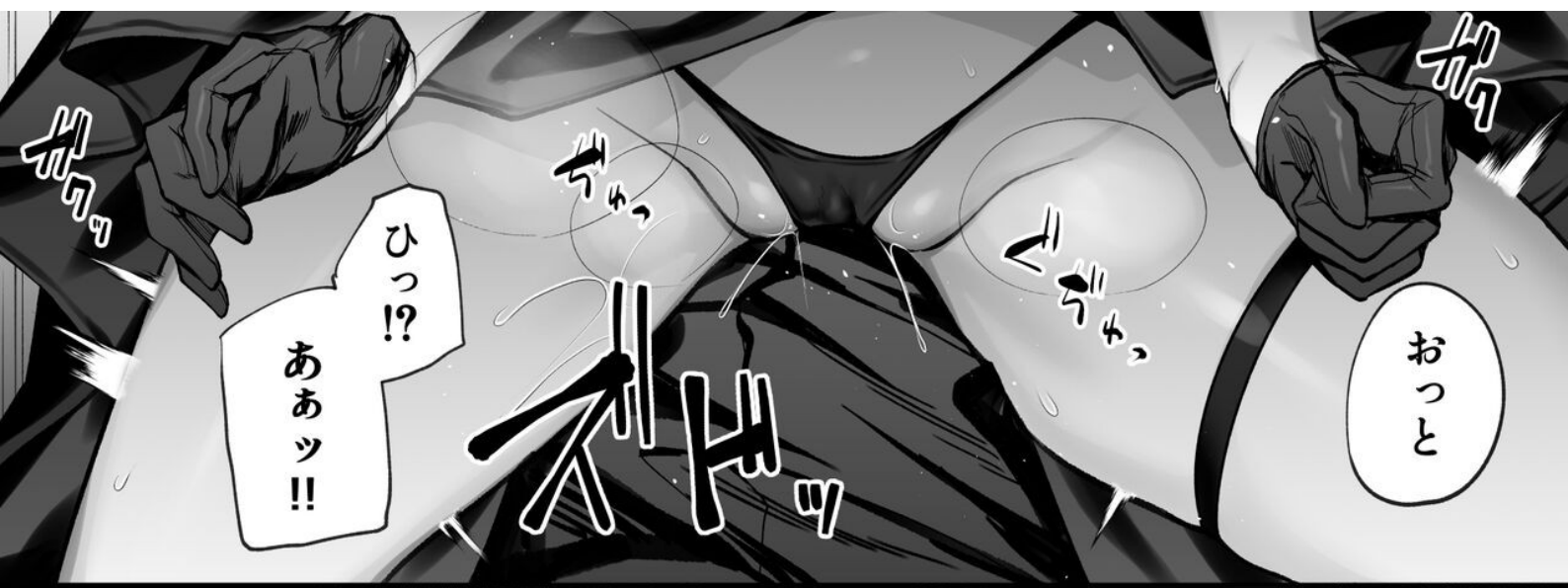


お……  
落ち着け僕  
一旦冷静に……

ッ! ああもう  
しつこいな……ッ!  
いつまで続ける気だ



身体  
浮いてんだよッ



ひッ!!  
ああッ!!

おっと



こ……  
コイツう……ッ

で?  
俺を殺しに  
来たんだっけ

そ……ッ  
だッ!?

わりイわりイ  
苦しかったよな

出来ると  
思ってたの?

さっきから  
何だこの  
妙な感覚……!!

あ……!



こ……  
こんな知らないッ

ちゃんと  
聞いてやるから  
言ってみろよ

ああダメだ！  
意識するな……ッ



そうそう  
アルヴェン君は？

ッ、うう！

絶対……



こんな  
身体になっても

アルヴェンだッ

あ……  
くっ……



ぼ、僕が  
負ける訳がない



勇者の  
あア  
覚えてねエわ

馬鹿に  
してられるのも  
今だけだぞ……



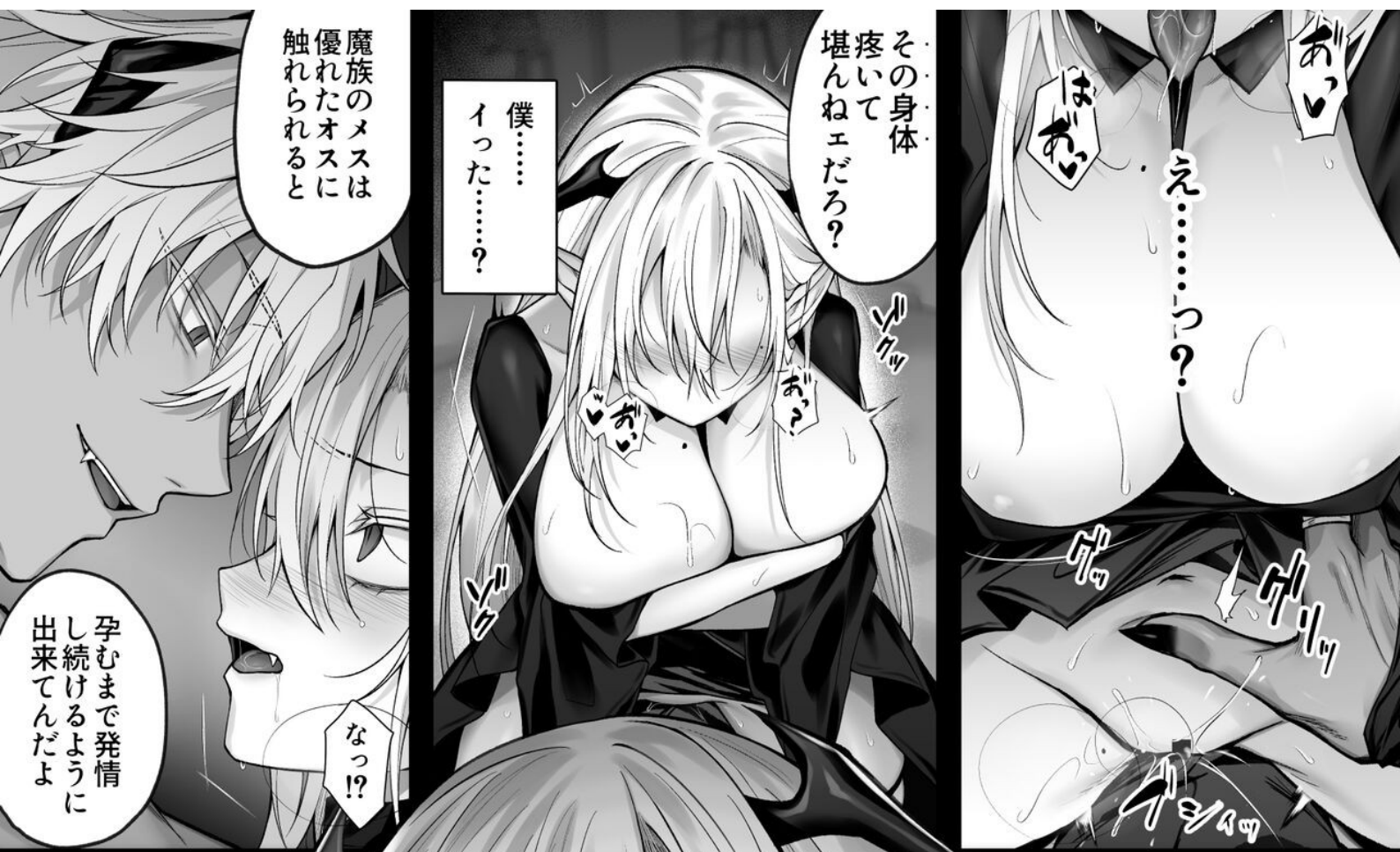
ははっ！  
可愛そうなヤツ



お前を殺す……ッ  
殺してやる……ッ！

セッ

セッ



その身体  
疼いて  
堪んねエだろ？

僕……  
イった……？

魔族のメスは  
優れたオスに  
触れられると

孕むまで発情  
し続けるように  
出来てんだよ

なっ!?



ほんつと  
メスの身体は不便で  
たまんねーよなア？

そ  
そんな……ッ

ただ女の身体に  
されただけ  
じゃないのか…!?

タタタ

ははっ  
その顔  
興奮すんなア

……あれ？  
もしかして  
かなりマズい状態？

ぐぐぐ  
ぐぐぐ

んじや  
そろそろ

その身体  
使って  
相手して貰うか

いや、無理だろ……！  
女の身体で  
男相手とか……ッ

グググ……

触れよ

ひっ……！  
もう  
大きくなって……

グググ

これ……  
僕の身体で……？

勃起きつてないよな？  
でも  
僕のより大きい……

は……

は……

グググ……

こんなの  
挿入れたら……ッ

ドググ……



だ……だめだ  
駄目だ駄目だ!!

キュンッ♡

キュンッ♡

とろおー♡……♡

僕は男だぞ  
だから絶対に……



あれ……?

何  
しようとしてる……?

は……♡

は……♡



しゃぶれ

ッ……

ッ♡



あ  
熱い……ッ

全然手に  
収まらない……

ヒキ

ヒキ

ッ♡



……これは  
隙を見つける為だ

ッ♡



童貞？

ガクッ

ビクッ

ッ……



お前さア  
もしかして

はずっ



と、とりあえず  
舐めれば……？

ゴッ

……



男なら  
良いところ  
わかんたろ？

グッ

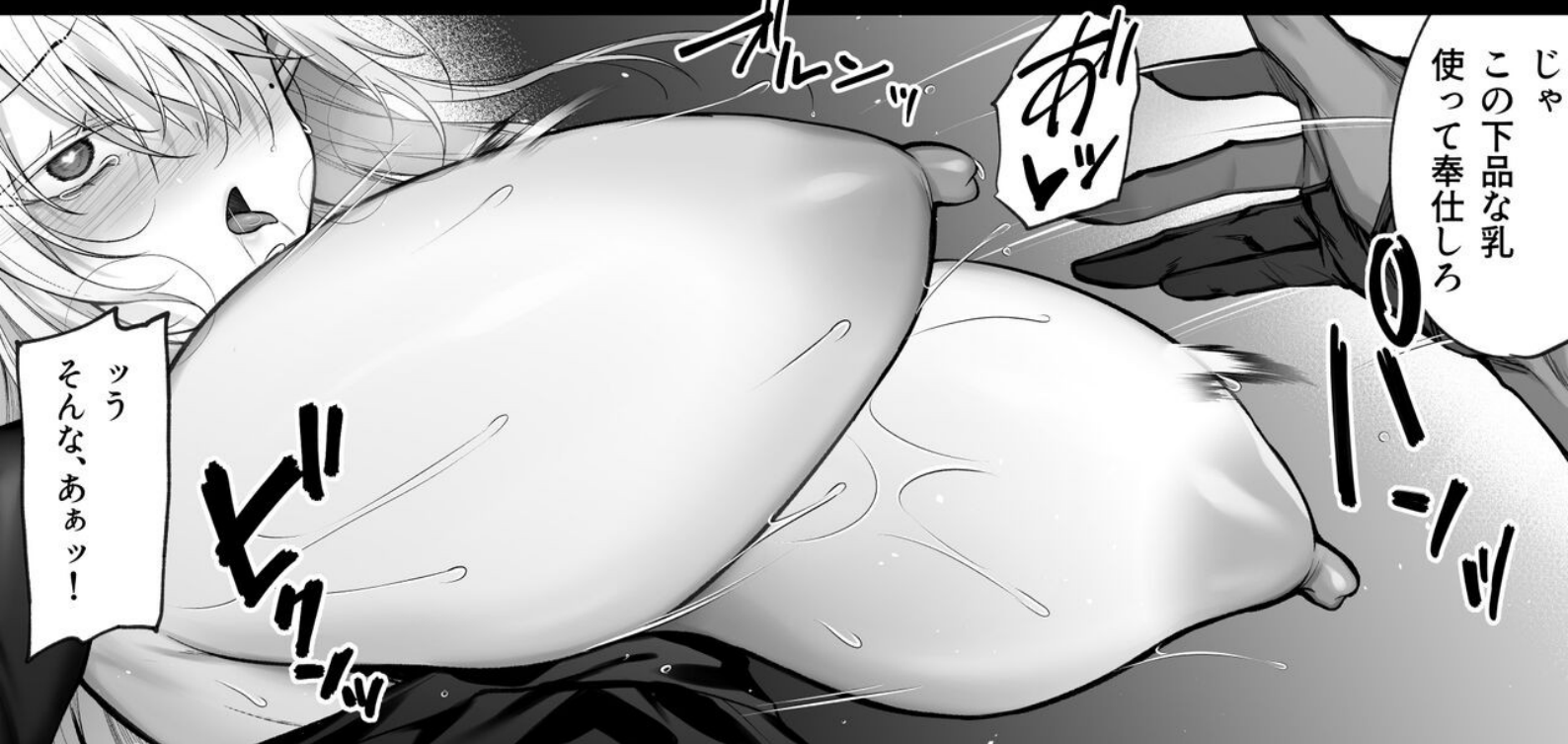
そんなこと  
言われても……ッ



はっ  
図星かよ

満足に出来ねエなら  
他の仲間でも  
使うか？

あ、まだッ  
まだ……っ！



じゃ  
この下品な乳  
使って奉仕しろ

お  
いッ

ズルンッ

ズ  
クッ

ッラ  
そんな、ああッ！

お……  
お前な……ッ!

仲間には  
手出されたく  
ないんだろ?

なら  
やって  
みせろよ

……今は、仕方ない

これ……

むず……

ククッ

早くしろよ

乱暴に  
扱いやがって……

その方が  
やり易いだろ?

……  
悪趣味だな  
コイツ……

くそっ  
意識すると  
重いな胸……

うるさい  
わかってる……!

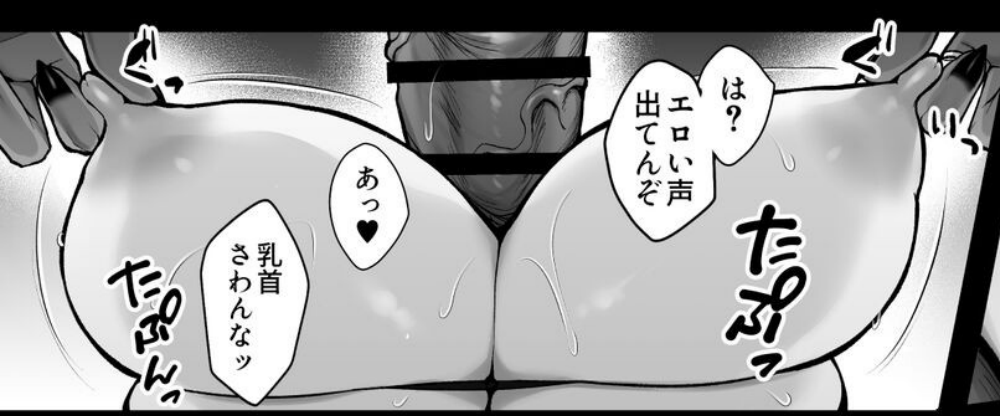
は……  
挟めば  
良いんだよな?

おい

ト回……♡



やる気  
あんの？



へえ……お前  
ここも弱エのか



言いたいこと  
あんなら  
はつきり言えよ

だから

感じて  
なんか……ッ





残念ハズレ  
もう三本  
はいつてんぞ

え……？  
ま、まてっ



待つと  
思うか？

今イッたらダメ♡  
またナカ  
拡がっちゃ…ッ



あ……無理だ♡  
弱点バレてるッ♡  
イカされるうっ…♡

大人しく  
イっつけ  
雑魚メス

や、ああっ  
やだっ♡  
やだあっ♡



勇者くん  
今何本  
入ってると思う？

ああもう  
何やってんだ  
僕……ッ

に……  
ほん……？

ずっと  
コイツに  
おられるがままで

せちっ…

このままじゃ  
本当にちんぽ  
ハメラれちゃうのにッ♡

くちゅっ♡

くちゅっ♡

くちゅっ…♡

くちゅっ♡

くちゅっ♡



ぼく……っ♡  
おまんこで  
イって……っ♡

ッはは……  
初めてでここまで  
深イキ出来るとか  
お前  
結構才能  
あんじゃないね？



……さて  
もう覚悟  
出来てるよな？

っあ……!?

勇者ちゃん



その感覚  
忘れんなよ

こ……これ……ッ  
ぜったい  
ダメなやつ……♡

ぐ……っ♡



はアッ!?  
ふざけ……ッ  
んな……!!

ああ  
そんだけ  
元気なら……







は……？  
あれ？  
今の僕の声……？



ま、もう  
遅いけどな

あ……♡  
これヤバイとこ  
まではいつて♡



声、抑えられない♡  
こんなの  
続けられたら……♡



抜けっ  
抜けよお♡

おまんこ  
壊される……♡

ああ？



ははっ  
その下品なメス声  
すげー  
チンポに効くわ

お……♡  
この体勢  
子宮潰れる♡

体格差考えろ♡  
無遠慮に体重  
掛ひんなつてえ……♡

俺に  
命令してんじや  
ねエよ……ッ!

く……そ……ッ  
あまり勇者を  
なめるなよ……!

だめ♡だめえっ♡  
コイツの形に  
されちゃうッ♡

へえ?  
この状態で  
よくそんな口が  
利けんア

ま、負けるな  
ぼくら……ッ♡

ここで俺のこと  
骨抜きにでも  
してくれんの?

そ  
そ  
そういう  
意味じゃッ

おッ……♡  
このちんぽッ  
つよしゅむむりらっ♡

即イキ  
してんじや  
ねエよ

まだ  
頑張って  
みせんだろ?

トロク……

あ……♡



ッ！だから  
休ませろって…ッ  
僕を殺す気—

ガッ  
ガッ



た、頼む  
休憩…ッ

何？  
ちっさくて  
聞こえねエな

はッ！  
嘘つくな…ッ  
僕はもう何回も  
イってんだよ…ッ

それに恋人みたいに  
抱き合ってるとか  
ほんと  
無理だから…ッ



おい、舌  
絡ませろよ

…あ、だめだ…  
キスされると  
頭おかしく  
なって…ッ

とろ…  
とろ…

どうなってる  
んだよお…

えろ…

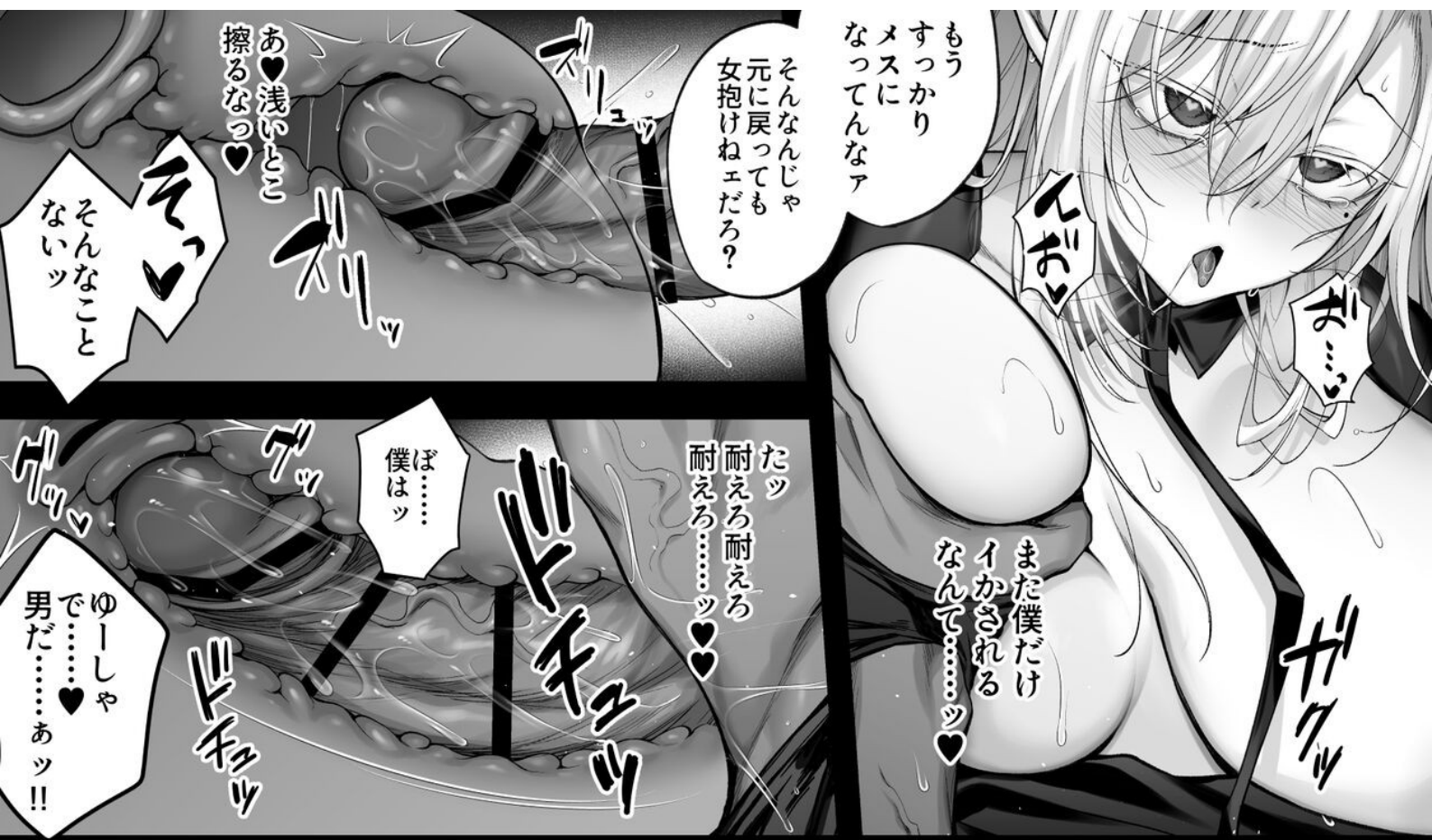


まんこ痙攣してんぞ  
またイきそう  
なんだろ？  
ホントチョロいな

ああ  
否定できないの  
乱暴に突かれるの  
好き…

一番奥まで届く  
こいつのちんぽっ  
好き好き  
大好き…

いくいく…  
おまんこイぐらッ



もう  
すっかり  
メスに  
なってるなア

そんなんじや  
元に戻っても  
女抱けねエだろ？

あ♡浅いとこ  
擦るな♡♡

えっ♡  
そんなこと  
ないッ

えっ♡

えっ♡

また僕だけ  
イカされる  
なんて……♡

ガクッ



たッ  
耐える耐える  
耐える……♡♡

僕ぼ……  
僕はッ

ドキュッ  
ドキュッ

ゆーしゃ  
で……♡  
男だ……あッ!!

ドキュッ



自信  
ねエの？

じゃ  
戻るか？  
これ以上  
イかなかったら  
男に戻してやるよ

チュルッ

え……っ？

んんん♡

ほんく……♡  
ほんと  
に……？

ほゅん♡

ほゅん♡

ははっそりや  
楽しみだなア？

ッ……  
僕がお前なんか  
イカされ  
負けるわけ……っ

絶対元  
に戻して  
貰うからな……!

……で？  
いつになったら  
その腰落として  
くれんの？

ま……まてっ！  
そこッ♥は  
触るな……って

ヤ……ヤバい  
コレなら主導権  
握れると思っただのに……ッ

僕の弱点  
丸出しじゃん♡♡♡

おい……  
ワザとじゃ  
ねエよな？

はあ……  
今のノーカンに  
しといてやるが

もう  
我慢  
出来ねエわ

ああッ!♡

まって  
僕がやらなきや  
すぐにッ♡

ほら  
さっさと  
いけ

あ……だめ♡  
イぐってえ……ッ♡





はいお疲れさん  
もう終わりだな

うそっ

ままだ

は早く男に  
戻らないと  
じやなきや……ッ

…なあお前  
気付いて  
ねエの？

ずっと  
自分から  
腰振ってんぞ

本当に  
手遅れ……ッ

……え？



ち  
違う……

いい加減  
諦めろよ

アルヴェン

考えるんだ  
考えて



もう  
わかるよな

それは  
僕が……



なア



おとこ  
勇者だったとき  
よりもさア

今の方が  
幸せだろ？

……どうして  
僕がコイツに  
勝てないのか

女だからだ

仕方ねエよな？

一度でも

これを知ったら元には戻れない

だからもう

楽になっちゃうまじだよ

ほ……  
欲しい……♡

スリー……♡

このちんぽで……♡  
僕のこと  
いっぱい犯してよ……♡

……ははっ  
それで良い

コイツは  
どうすれば女が  
思い通りになるか  
知ってるんだ

ズン  
ズン  
ズン

お前は  
俺の女だ

ズン

そんな相手に  
僕が  
勝てる訳ない……♡



アルヴィナ

へ……っ？  
今なんて……ッ

キュン

キュン

グン

おっ

……違う！  
僕は  
アルヴィンで……



アルヴィナ  
愛してる

ッ♡  
なんで僕  
喜んでるんだ……ッ

ダメ、だろ……？  
名前までは……

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

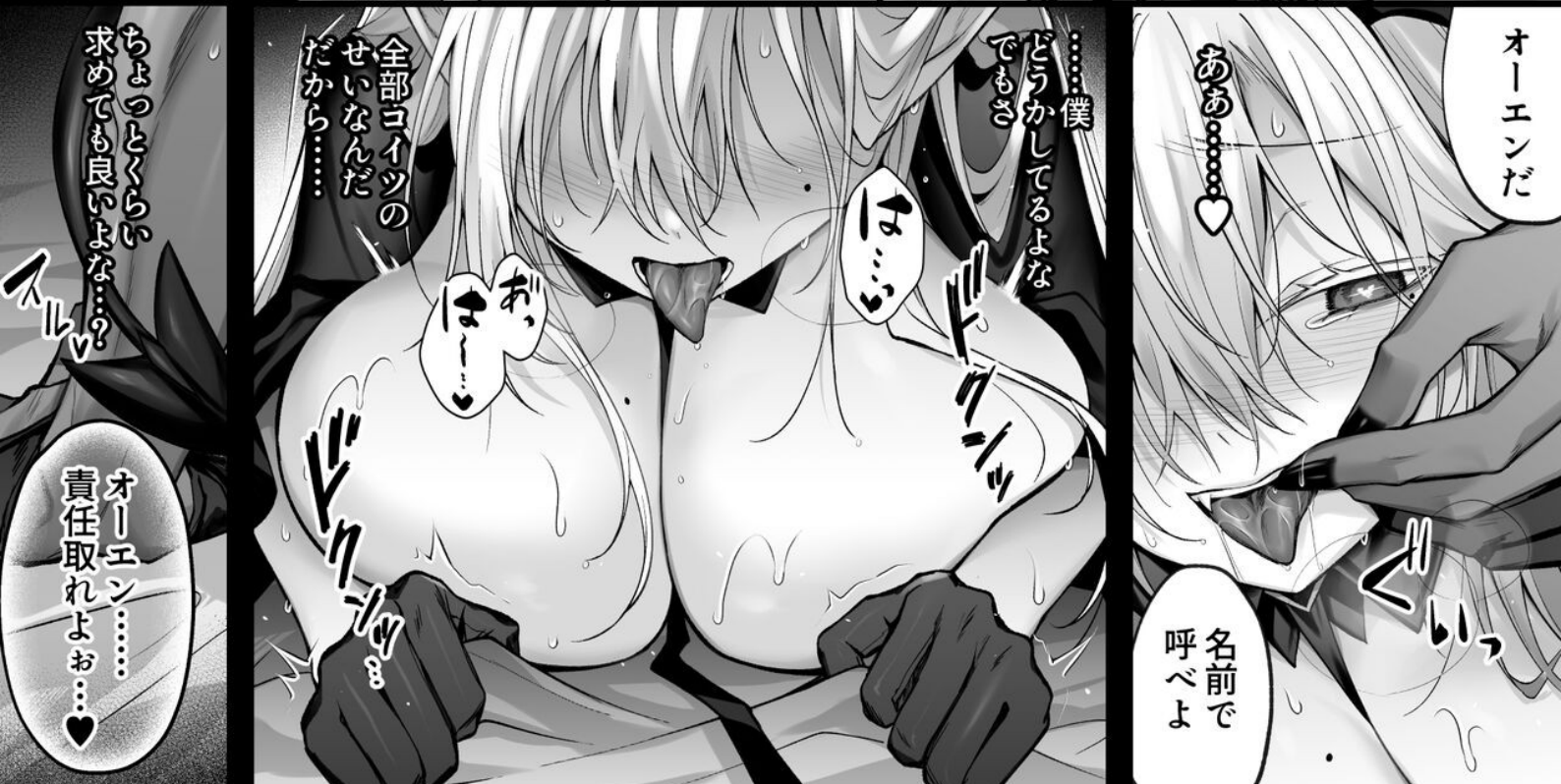
おっ

おっ

なア  
アルヴィナ

僕以外誰も  
こう言うこと  
してやっただろ……♡

ま……おう……



オーエンだ

ああ……♡

名前で  
呼べよ

……僕  
どうかしてるよな  
でもさ

全部コイツの  
せいなんだ  
だから……

ちよつとくらら  
求めても良らふな……？

オーエン……  
責任取れよお……♡

おっ

おっ

おっ

おっ

ああ  
勿論だ

ちんぽハメるくらいしか  
利用価値のない  
弱い女の僕……♡

もう、それまで  
良いんだ……♡♡

ツこれえ  
好き♡

クニニ♡  
クニニ♡

だって  
この生き方の方が  
幸せなんだもん……♡

あは……♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡





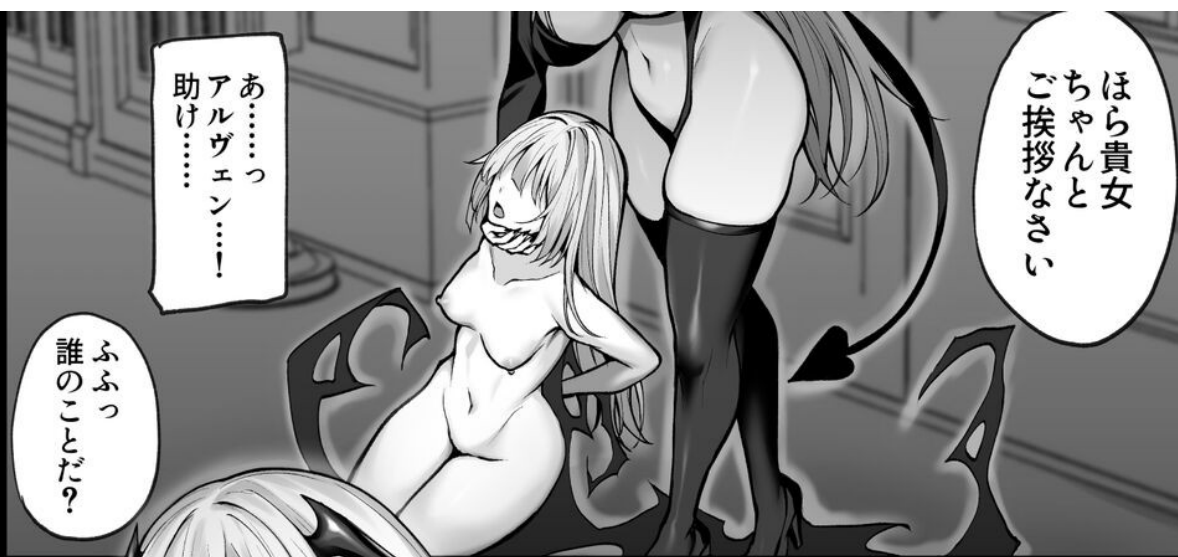






私の名前は  
アルヴェイナだ

間違えるなよ  
シア



ほら貴女  
ちゃんと  
ご挨拶なさい

あ……っ  
アルヴェン……！  
助け……

ふふっ  
誰のことだ？



え……？

驚いたか？  
君の前ではいつだって  
君の理想の僕  
だったもんね

……でもね私  
気付いたんだよ  
女として生きる方が  
幸せなんだって



だからさ  
世界も君達も  
全部……

もう  
救えないんだ

ごめんね♥

最強勇者の僕がTS魔法で

魔王ガチ恋メス淫魔に

なるわけがない



メス淫魔



ふふっ♡  
また私と  
シたいんだろ？

良しよ…♡

たはは♡♡♡

せせ…♡

はま…♡

この身体は  
くらたうて  
君のモノだからね♡

んんん

んんん…♡



おい  
気取ってんじやねーよ

俺が来るまで

オナってるたなる？

部屋中ぐすぐせエんだよ

おっ♡おっ♡

ごめっ♡ごめんなさる♡

トクッ

トクッ

今日は俺が満足するまで  
まんこ使うからな

はははっ♡

あ♡イくらっ♡

いつちやつ♡イタッ♡

キッ

勝手にイくなよ

あッ♡まって、ッ♡  
まだイってる…からあり♡

俺に命令するなって

言ったよな？

トクッ♡ひっ♡

あゝお…お願いします♡  
奥に押し付け、なすでな…♡

♡♡♡こんな

すぐイカされちやうに

決まってるだろお…♡

いっしょに

トクッ